



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

コード番号 2374 URL <https://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤間 和敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向けライブ配信及び当社サイトに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,960	3.0	1,611	17.1	1,631	17.2	1,074	20.2
2023年3月期第2四半期	26,185	10.3	1,375	△5.6	1,391	△3.1	893	△5.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,083百万円 (20.1%) 2023年3月期第2四半期 901百万円 (△5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	43.49	43.06
2023年3月期第2四半期	35.77	35.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	30,157	15,151	50.0
2023年3月期	29,530	14,645	49.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 15,070百万円 2023年3月期 14,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,350	5.3	3,100	22.1	3,077	13.6	2,000	16.7	80.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、2023年7月31日付で譲渡制限付株式報酬としての自己株式20,520株の処分を行っております。2024年3月期の連結業績予想における「1株当たりの当期純利益」については、当該株式処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,998,733株	2023年3月期	24,998,733株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	279,648株	2023年3月期	300,168株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	24,705,517株	2023年3月期2Q	24,987,163株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行など、社会・経済活動の正常化が進展し、インバウンド需要や個人消費を中心に緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、原材料・エネルギー価格の高騰や円安基調の継続など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境は、超高齢社会を背景に今後もサービスに対する需要の増加が予想されております。その一方で、生産年齢人口の減少とともに人材の確保がより一層厳しさを増しており、従業員の採用・定着に加えて生産性の向上が重要な経営課題となっております。

当社グループは、介護保険制度の変化に対応していくとともに、引き続き中重度・医療的ニーズの高いお客様への対応を重要課題として、「これまでも、これからも、ずっと在宅」を念頭に、今後もお客様が住み慣れた地域で生活し続けることを可能にするソリューションを提供してまいります。また、収益基盤の強化として、訪問介護、訪問看護、多機能型サービスの展開を重点投資サービスとして推進するとともに、市場環境の変化や次期報酬改定等を見据えた上で採算性の低い拠点については業容転換や統廃合等を実行するなど、事業構造の見直しについても機動的に行ってまいります。なお、当第2四半期連結累計期間においては、訪問介護3ヶ所、訪問入浴2ヶ所、訪問看護5ヶ所、看護小規模多機能型居宅介護1ヶ所の合計11ヶ所の新規開設を行った一方で、統廃合については訪問介護2ヶ所、居宅介護支援1ヶ所、訪問看護3ヶ所、福祉用具貸与・販売1ヶ所、デイサービス1ヶ所の合計8ヶ所を実施した他、ショートステイ1ヶ所を業容転換のために廃止、有料老人ホーム1ヶ所を他事業者へ事業譲渡いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高では269億60百万円（前年同期比3.0%増）と緩やかな伸びに留まりました。その背景として、新型コロナウイルス感染症については5類移行に伴って社会・経済活動は正常化に向けた動きが進んでいるものの、依然として感染症の発生自体は継続しており、当社グループのお客様や従業員における罹患者数は前年同期の7割程度で推移いたしました。これに加えてインフルエンザ感染者の増加や台風等の自然災害の影響も受ける事となりました。このような外部環境の中で、集客面については新規でのお客様獲得は順調に進んだ一方で、入院・入所等による休廃止数は想定を上回って増加いたしました。サービス面では重点投資サービスである訪問看護や多機能型サービスが成長を牽引している他、これまで苦戦していたデイサービスにおいても改善が進んだ一方で、訪問介護は僅かながらも減収となりました。

費用面においては、コロナ禍におけるサービス継続・支援のために重層化となっていた運営体制の正常化に向けた取り組みを進めており、人員配置等を中心に見直しを行っております。採用先行による人件費過多とならないよう集客状況に応じた人員体制・稼働体制整備を優先的に行ったことで人件費の適正化と一時的に採用関連費用は減少しておりますが、状況を見定めた上で更なる成長に向けた人的投資にも注力してまいります。また、当期の新規出店計画は前期と比較して施設系サービスを中心に投資をやや抑制していることから、当第2四半期連結累計期間では消耗品費等の開設に伴う準備費用が減少しました。

この結果、営業利益は16億11百万円（同17.1%増）、経常利益は16億31百万円（同17.2%増）、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は10億74百万円（同20.2%増）となりました。なお、事業構造見直しに伴い実行した有料老人ホーム1ヶ所の譲渡に伴う事業売却益44百万円を特別利益に計上しております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

・介護サービス事業

訪問系サービスでは、訪問介護において、当期はサービスの高度化・単価改善に取り組んでおり、前年同期に比べて総合事業のお客様数は大きく減少しました。介護給付を中心とした新規お客様獲得は前年同期以上に進んだものの、休廃止数が想定を上回って推移したことで全体のお客様数は減少しており減収減益となりました。一方で、訪問看護においては、前期15ヶ所の開設に加えて、当第2四半期連結累計期間に5ヶ所を開設したことでお客様数が増加し、人材採用にかかる費用が減少したことなどにより増収増益となり、訪問系サービス全体でも増収増益となりました。

施設系サービスでは、デイサービスにおいて稼働の向上などにより売上を伸ばしており、看護小規模多機能型居宅介護においても引き続き、前期に開設した6ヶ所の拠点が順調に収益貢献したことで増収増益となり、施設系サービス全体においても、増収増益となりました。

これらの結果、売上高は264億73百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は11億38百万円（同14.6%増）となりました。

なお、当社が推し進めております「コミュニティNo.1戦略」については、当第2四半期連結累計期間末日において35ヶ所で運営しており、今期においても順調にエリアを拡大してまいります。

・その他

その他においては、セントワークス株式会社では2023年3月31日付で労働者派遣事業を廃止しており売上高が減少しました。その一方でケアボット株式会社の介護ロボット販売事業が堅調に推移しました。その結果、売上高は6億60百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は72百万円（同383.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より6億26百万円（前期末比2.1%）増加し、301億57百万円となりました。

流動資産は、前期末より9億51百万円（同5.9%）増加し、170億61百万円となりました。これは主に流動資産「その他」に含まれております未収入金が1億7百万円減少した一方で、現金及び預金が7億54百万円、売掛金が2億46百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より3億24百万円（同2.4%）減少し、130億95百万円となりました。これは主に有形固定資産が2億7百万円、投資その他の資産が63百万円、無形固定資産が53百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前期末より7億6百万円（同9.5%）増加し、81億62百万円となりました。これは主に賞与引当金が1億21百万円減少した一方で、未払金が4億28百万円、流動負債「その他」に含まれております預り金が3億36百万円、未払法人税等が92百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前期末より5億85百万円（同7.9%）減少し、68億43百万円となりました。これは主に長期借入金が5億44百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前期末より5億5百万円（同3.5%）増加し、151億51百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億80百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、2023年5月15日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,687,944	7,442,294
売掛金	8,212,105	8,458,356
棚卸資産	119,443	121,084
その他	1,104,858	1,054,175
貸倒引当金	△13,864	△14,232
流動資産合計	16,110,486	17,061,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,825,191	4,905,161
リース資産(純額)	2,600,992	2,508,512
その他(純額)	1,391,301	1,196,329
有形固定資産合計	8,817,485	8,610,002
無形固定資産		
のれん	374,894	338,325
リース資産	4,129	2,064
その他	273,821	258,480
無形固定資産合計	652,845	598,870
投資その他の資産		
差入保証金	2,122,003	2,111,464
その他	1,827,674	1,775,024
投資その他の資産合計	3,949,678	3,886,489
固定資産合計	13,420,009	13,095,362
資産合計	29,530,496	30,157,041
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,505	522,068
1年内返済予定の長期借入金	1,134,980	1,084,922
リース債務	183,134	179,610
未払金	3,127,063	3,555,145
未払法人税等	446,349	539,235
賞与引当金	1,341,571	1,220,150
その他	682,395	1,061,304
流動負債合計	7,456,000	8,162,437
固定負債		
長期借入金	2,260,521	1,716,518
リース債務	2,958,661	2,869,669
退職給付に係る負債	1,910,975	1,985,192
資産除去債務	157,342	159,508
その他	141,751	112,523
固定負債合計	7,429,252	6,843,411
負債合計	14,885,252	15,005,849

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,772,405	1,772,405
資本剰余金	1,728,305	1,728,305
利益剰余金	11,389,527	11,870,155
自己株式	△246,392	△229,548
株主資本合計	14,643,845	15,141,317
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△79,187	△70,710
その他の包括利益累計額合計	△79,187	△70,710
新株予約権	80,584	80,584
純資産合計	14,645,243	15,151,192
負債純資産合計	29,530,496	30,157,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,185,358	26,960,637
売上原価	22,872,278	23,404,620
売上総利益	3,313,080	3,556,017
販売費及び一般管理費	1,937,345	1,944,465
営業利益	1,375,734	1,611,551
営業外収益		
受取利息	2,241	2,070
受取配当金	2,929	2,101
受取保険金	4,294	8,118
受取家賃	21,514	22,520
補助金収入	15,865	42,806
助成金収入	8,788	7,316
その他	54,300	22,553
営業外収益合計	109,934	107,487
営業外費用		
支払利息	67,502	64,623
持分法による投資損失	19,068	13,091
その他	7,184	10,210
営業外費用合計	93,755	87,925
経常利益	1,391,913	1,631,113
特別利益		
固定資産売却益	73	—
補助金収入	2,110	39,181
事業譲渡益	—	44,768
受取和解金	—	18,000
特別利益合計	2,183	101,949
特別損失		
固定資産除却損	275	1,172
固定資産圧縮損	2,025	38,689
減損損失	1,140	4,696
特別損失合計	3,442	44,558
税金等調整前四半期純利益	1,390,655	1,688,504
法人税等	496,752	613,944
四半期純利益	893,902	1,074,560
親会社株主に帰属する四半期純利益	893,902	1,074,560

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	893,902	1,074,560
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	7,986	8,477
その他の包括利益合計	7,986	8,477
四半期包括利益	901,888	1,083,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901,888	1,083,037

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。